

事業所名：グループホーム錦の里

作成日：平成 30 年 3 月 17 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策について 現在、災害時の食料と水の備蓄はしているが、量的に少なく、品数においても少ない為、災害時の対策に不安を生じる。	備蓄については、米・味噌・水のみに限らず、乾麺や缶パン等、品数の種類を増やし充実させる。	法人会議にて現状における災害時対策の問題点の提案を行い、承認もらった後、補充及び対策マニュアルの変更行いたい。	3ヶ月
2	26	入居者の生活歴や趣味趣向について計画に反映しているが、職員間で情報共有しがたい点がある。	職員全員が入居者1人ひとりの生活歴や趣味趣向等の情報をもれなく共有しサービスに繋げることが出来るようにする。	毎月のミーティングやモニタリング・カンファレンスの際に同一のシートを作成し整理する事で職員全員が情報共有出来るようにする。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。